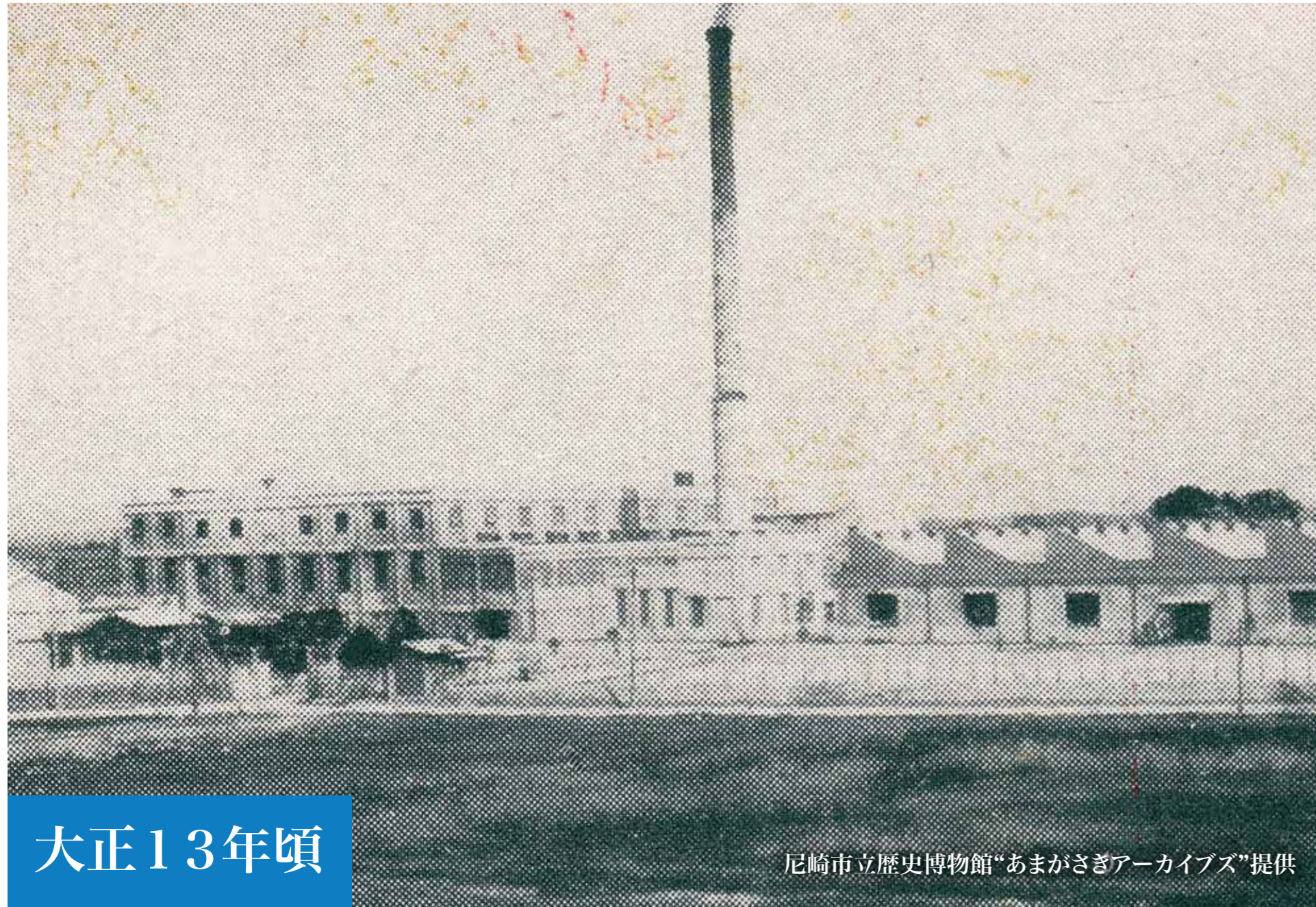


このまちの100年

「塚口」

明治末期から大正初期にかけて尼崎の海沿いの地域が工業地として著しく発展していくなか、塚口など阪急沿線を中心とする山沿いの地域では、鉄道会社や民間事業者が主体となり計画的な分譲地が開発されました。現在では良好な住宅地へ発展しています。



大正13年頃

尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”提供

森永製菓 塚口工場。ビスケット工場のほか、無料開放の野球場も設けられた



大正15年頃

尼崎市立歴史博物館
“あまがさきアーカイブズ”提供

現在の尼崎駅である、神崎駅。開業当初の駅名は、神崎ステーションだった



昭和8～12年頃

尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”提供

阪神国道を走った路面電車・阪神国道線



昭和8年頃

尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”提供

阪急電車跨線橋上から北方の伊丹方面を望む。以前は線路の上を道路が通っていた



昭和10年代

尼崎市立歴史博物館
“あまがさきアーカイブズ”提供

昭和12年の武庫之荘駅新設に合わせて開発された、阪急 武庫之荘住宅地



昭和38年頃

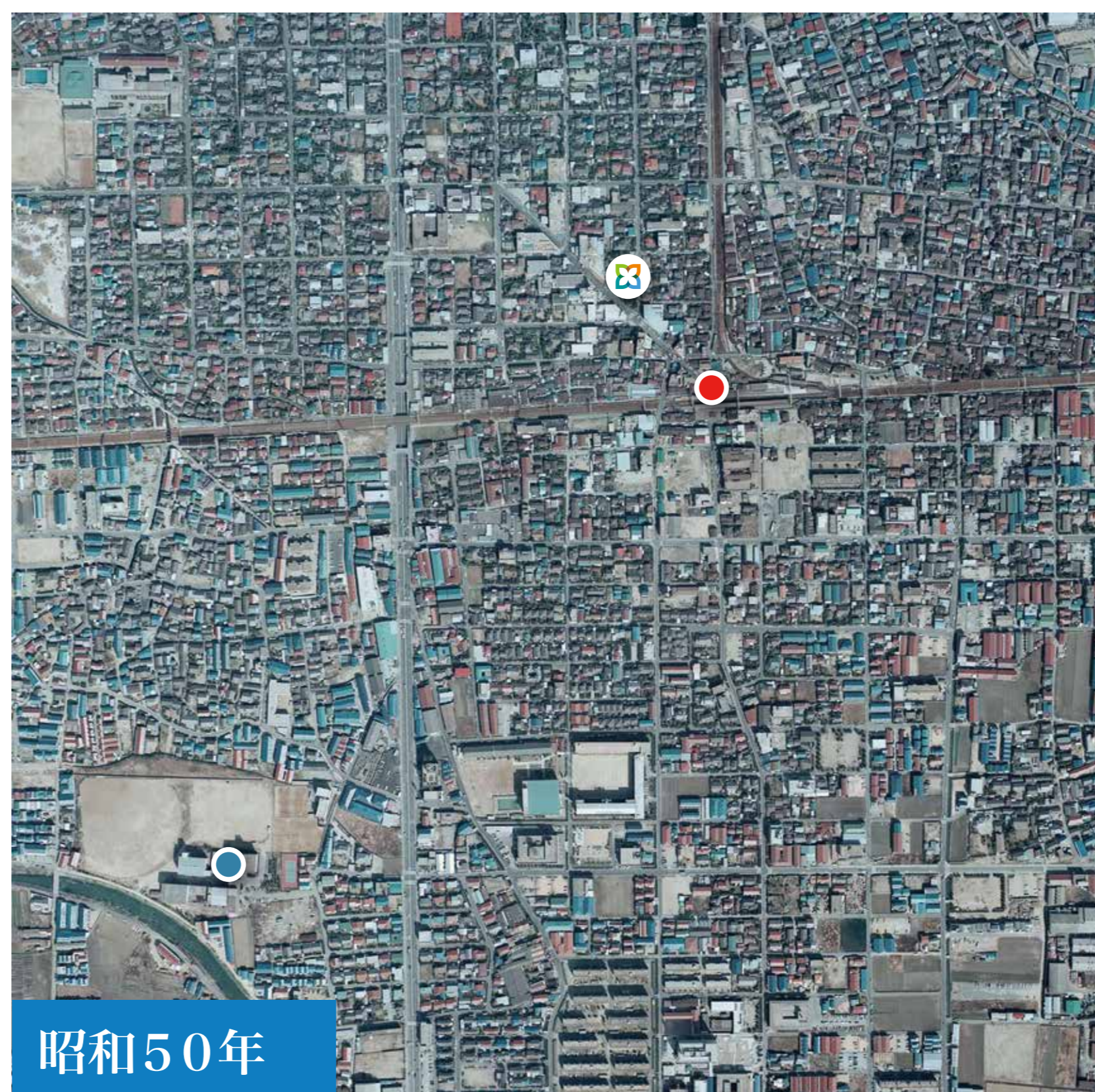
国立国会図書館蔵

武庫之荘の住宅地。東方面を望む

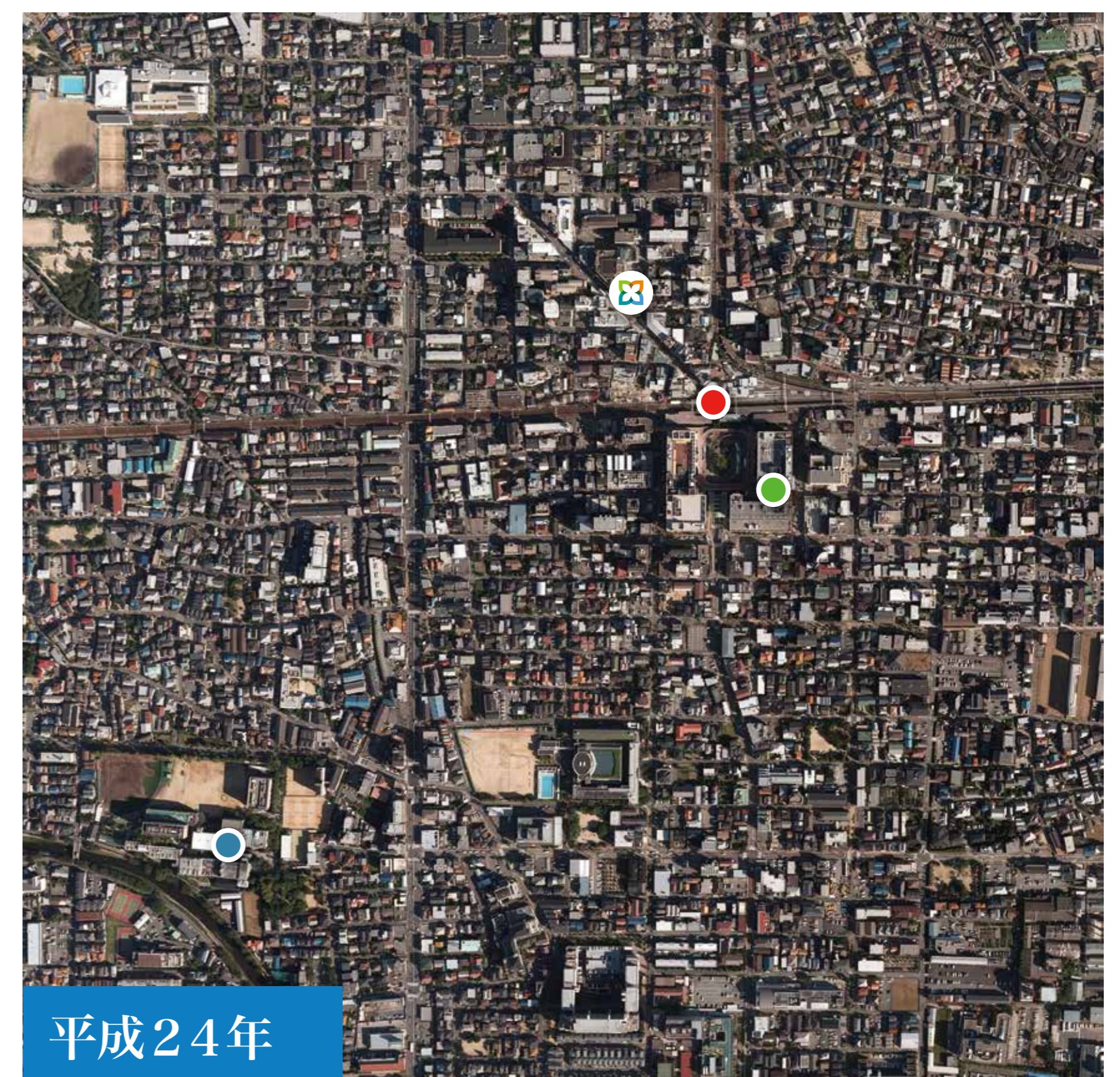
上空からみた塚口エリア



昭和23年



昭和50年



平成24年

: 現在地
 : 園田学園女子大学 : 塚口さんさんタウン : 塚口駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロモチ